

子どもたちを読書に親しませる工夫 ～「いわ100きっず」活用例～

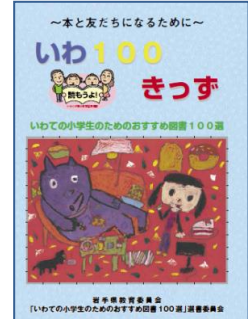
釜石市立小佐野小学校

目的 趣旨

児童一人一人が、言葉を学び、感性を磨き、想像力を豊かなものにするため、「いわ100きっず」等を活用した図書の紹介を工夫し、読書活動を推進する。

対象

全校児童 317人



学校・児童・生徒の様子

小佐野小学校の学区内には、釜石市立図書館があり、児童は放課後に市立図書館で読書をしたり、調べものをしたりと、学校図書館と市立図書館との使い分けを上手に行っている様子が見られます。

校内の委員会活動では、図書委員会による新1年生への読み聞かせを行ったことにより、安心して来館する新入生が増えました。また、図書祭を実施し、様々な分野の本に触れる機会となるよう企画を工夫しています。



【「いわ100きっず」のPR】

取組概要

- 1 地域ボランティアによる読み聞かせの実施
- 2 図書委員会による読書啓発活動
 - (1)新1年生への読み聞かせと図書室利用の補助
 - (2)図書祭の実施
 - (3)多読賞表彰
- 3 図書だよりの作成
- 4 並行読書への取り組み
- 5 「いわ100きっず」の活用について
 - (1)図書室開館の際には、図書室前に「いわ100きっず」を展示するとともに、掲載書籍を並べて紹介し、児童の読書意欲の高揚を図りました。(H26)
 - (2)「いわ100きっず」の掲載書籍を含め、各学年のワークスペースに学級文庫を配架し、いつでも読書に親しめるような環境を整備しています。
 - (3)「いわ100きっず」について、図書だよりに掲載し、児童と保護者にも紹介し、校内だけでなく家庭にも働きかけ、児童の読書活動の向上を図りました。(H26)
 - (4)社会などの授業で、「調べもの」に掲載されている書籍を児童が探しあて、学習に活用しました。(H28)

【図書だよりのPR】



● 学校から（取組の成果と今後について）

「いわ100きっず」を見て、「この本を読みたい！」と言ってきた児童があり、ブックリストの配布が読書意欲の向上につながりました。また、児童からのリクエストにより図書購入の参考にしています。

「いわ100きっず」に掲載されているすべての本が図書館に蔵書されていることが理想ですが、図書購入予算にも制限があるため、今後は、市立図書館と連携した取り組みにより、児童の読書活動の推進に取り組んでいきたいです。